



統合的気候モデル高度化研究プログラム  
Integrated Research Program for Advancing Climate Models (TOUGOU)



統合的気候モデル  
高度化研究プログラム

平成30年度

# 研究成果報告会

平成31年 **3月15日(金)**

10:00 - 14:20 開場 9:30

**同日開催** 14:40 - 16:30  
公開シンポジウムの部

**一橋大学 一橋講堂**

- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線「神保町」駅 A8A9出口から徒歩4分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅 1B出口から徒歩4分

**参加無料**  
事前登録制

登録締切

**3/8** (金) まで

定員 500名

\*受付期間内でも定員になり次第締め切りとさせていただきます



〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

## PROGRAM

開会挨拶

各テーマの研究成果発表

- A** 全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発 [10:10-10:50]  
東京大学大気海洋研究所 教授 渡部 雅浩
- B** 炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明 [10:50-11:30]  
海洋研究開発機構 気候モデル高度化研究プロジェクトチーム 河宮 未知生
- C** 統合的気候変動予測 [11:30-12:10]  
気象業務支援センター 高数 出
- D** 統合的ハザード予測 [13:10-14:00]  
京都大学防災研究所 教授 中北 英一

全体講評

主催：文部科学省 統合的気候モデル高度化研究プログラム  
プログラム事務局：国立研究開発法人海洋研究開発機構

お問い合わせ：統合プログラム公開シンポジウム事務局《(株)勤草書房内》  
TEL 03-3814-7112 tougou-symposium@keiso-comm.com



文部科学省

**事前登録はこちら** ▶

\*原則、インターネットからの事前登録となります。



統合プログラム



終了後、公開シンポジウムを同日開催いたします。是非あわせてご参加下さい。



## 本研究プログラムの課題一覧

## 領域テーマ A 全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発

領域代表：渡部 雅浩（東京大学大気海洋研究所 教授）

課 題		代 表 者	
(i) 地球環境変動予測の向上に資する気候モデル高度化			
a	近未来気候変動予測と CMIP6 実験の推進	建部 洋晶	海洋研究開発機構 ユニットリーダー
b	物理プロセスの高度化による気候モデル開発	鈴木健太郎	東京大学大気海洋研究所 准教授
c	陸面モデルの高度化	芳村 圭	東京大学生産技術研究所 准教授
(ii) 気候変動予測の不確実性低減と科学的知見の深化			
a	気候感度に関する不確実性の理解と低減	小倉 知夫	国立環境研究所 主任研究員
b	過去の気候変動・異常気象の要因分析と将来予測	渡部 雅浩	東京大学大気海洋研究所 教授
c	全球非静力学モデルによる雲・降水・循環過程の理解	野田 暁	海洋研究開発機構 ユニットリーダー

## 領域テーマ B 炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明

領域代表：河宮 未知生（海洋研究開発機構 気候モデル高度化研究プロジェクトチーム プロジェクト長）

課 題		代 表 者	
(i) ESM の開発・地球システム解析			
a	ESM 開発・応用	羽島 知洋	海洋研究開発機構 ユニットリーダー代理
b	マルチモデル解析による温度上昇の確率的評価	筒井 純一	電力中央研究所環境科学研究所 副研究参事
c	ESM 開発環境整備	荒川 隆	高度情報科学技術研究機構 主任研究員
(ii) 地球人間システム相互作用			
a	地球社会経済システム相互作用	立入 郁	海洋研究開発機構 ユニットリーダー
b	地球システム水資源・作物・土地利用モデル結合	横畠 徳太	国立環境研究所 主任研究員
(iii) テーマ間連携のための技術・事務支援			
		河宮未知生	海洋研究開発機構 プロジェクト長

## 領域テーマ C 統合的気候変動予測

領域代表：高藪 出（気象業務支援センター）

課 題		代 表 者	
(i) 高精度統合型モデルの開発		石井 正好	気象業務支援センター
(ii) 汎用シナリオ整備とメカニズム解明			
a	汎用シナリオ整備と顕著現象変化メカニズム解明	仲江川敏之	気象業務支援センター
b	台風等極端事象の高解像度ダウンスケーリングシミュレーション	坪木 和久	名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授
(iii) 高精度気候モデル及び評価結果のアジア・太平洋諸国への展開と国際貢献		佐々木秀孝	気象業務支援センター

## 領域テーマ D 統合的ハザード予測

領域代表：中北 英一（京都大学防災研究所 教授）

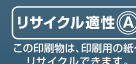
課 題		代 表 者	
(i) 極端なハザードの強度と頻度の長期評価		森 信人	京都大学防災研究所 教授
(ii) 21 世紀末までのシームレスなハザード予測		田中 賢治	京都大学防災研究所 准教授
(iii) 過去災害のハザード分析と気候変動要因の評価		竹見 哲也	京都大学防災研究所 准教授
(iv) ハザード評価のアジア・太平洋諸国への展開と国際協力		立川 康人	京都大学工学研究科 教授
(v) 様々な変化を考慮した後悔しない適応戦略		多々納裕一	京都大学防災研究所 教授
(vi) バイアス補正法・極値評価技術の開発		北野 利一	名古屋工業大学工学研究科 教授

事前登録はこちら

\* 原則、インターネットからの事前登録となります。



統合プログラム

終了後、公開シンポジウムを同日開催  
いたします。是非あわせてご参加下さい。リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。